



# 情報を活用する力を育てます

問い合わせ  
打出教育文化センター ☎38-7130

21世紀に生きる子どもたちに求められる力を育むため、大きく3つの視点から、子どもたちを支援しています。  
①タブレット端末を活用した授業②プログラミング教育③情報モラル教育です。  
実際にどのような授業が行われているのか見てみましょう。

## タブレット端末を活用した授業

潮見小学校では、食育の授業をしています。この日は、タブレットを使って、栄養バランスを考えたセレクト給食の献立を考えています！



## プログラミング教育

宮川小学校の授業風景  
プログラミングをして、ロボットを動かします。  
考えた通りにロボットは動いてくれるかな？



## プログラミング学習って何ですか？

「コンピュータへ意図した処理を行うよう指示することができる」ことを子どもたちが体験しながら、身近な生活でコンピュータが活用されていることや、問題の解決には必要な手順があるということに気付く学習です。各教科等で育まれる子どもたちの思考力を基盤としながら、基礎的なプログラミング的思考を育成していくのです。  
プログラミング的思考とは、自分が意図した一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号をどのように組み合わせたらいいのかを、論理的に考えていく力です。

## 情報モラル教育

精道小学校では、動画サイトのメリット・デメリットを話し合い、動画サイトを利用する時に守っていききたいスローガンを作り、使い方について考えを深めることを目的とした、Youtubeサミットを開催しました。



打出浜小学校の情報の授業です。  
身近にある携帯ゲームや動画サイトの話、お金や知らない人との関わりについて、みんなで考え、話し合いながら学習しました。

## 情報と上手に付き合うために

多くの子どもが、インターネットを利用しています。便利で楽しい一方、危険が伴います。ネット社会で生きていくために、危険を察知し、安全に使う力が必要なのです。大人は子どもたちの自立をサポートし、どのようにインターネットと付き合うかを子どもと話し合うことが必要ではないでしょうか。



打出教育文化センター  
幸谷 省吾



校長先生が授業を行いました。

宮川小学校校長 永松 博文

## 情報を整理・編集・表現する技術が必要

「友達から聞いた話を別の友達に伝える」「テレビで見た内容について学校の友達と話す」など、私たちは日常的に、発信元(友達やテレビ等)から知り得た価値のある情報に、さらに情報を付け加えたり、情報の一部だけを切り取ったりして、情報を集め、選び、編集、表現して、再び伝達することを繰り返しています。

最初は、小さな価値の情報であっても、伝達が繰り返されることで、大きな価値を持つ情報に変化することもあります。時には、友達に伝えない方が良くと判断する情報もあったりし

ます。このように、私たちは、情報を取捨選択して伝達する活動を通して、情報活用能力を育てているのです。

情報社会が進展するにつれ、一度に複数の情報を受け取る機会が増えてきました。情報には、活字や会話、写真、動画等が混ざり合います。活字だけ、会話だけではなく写真や動画が付加されることで、情報は価値を増大させます。子供たちには、それらを瞬時に整理して、編集、表現する技術が必要なのです。今の学校教育では、その技術を習得させる授業編成が求められているのではないのでしょうか。



園田学園女子大学  
人間健康学部教授  
堀田 博史氏